

地域の実情と課題

- ・物価高などの影響により、様々な業種において経営状況は深刻であり、今後の経営継続や想定外の離職に係る相談対応は、緊急的課題である。
- ・当自治体は離婚率が高い値を示しており、孤独や孤立を伴う環境での就業、育児を強いられる現状が推察される。

事業の特徴

民間等による子供の見守り体制は、一定程度確保されているものの、女性に焦点化した支援機関は存在しない。そのため、社会福祉法人に委託し、相談場所の整備をし、知識を活かした対応をする。相談者のニーズに応じたケースワークで対応する。
対応方法：来所・訪問・電話・メール等
また、不安を抱え生活困難な女性に対する支援として、生理用品の配布等によるイベントを開催する。

事業の効果

困難を抱える女性に対する個々の相談、支援、協力体制が整備されることで、女性の自立が促されるほか、把握しきれていない課題の解決が期待できる。また、そのデータを基にして支援がとぎれないよう、他の関連機関との連携を密にする。

- 相談・支援に繋がった件数 月平均16.3件
(同人でも別日の相談・支援はそれぞれ1回とカウント)
⇒目標としていた月16件に達する結果となった。

目的・目標

女性の居場所づくり、専門的な助言や指導による孤独の孤立の解消、不安や安心を共有できる仲間作りや就労支援を目的とした支援の提供を行うとともに、社会とつながる体制の整備を目指す。

○目標相談による支援件数(アウトカム) 16件／月

連携団体

事業委託・・・社会福祉法人 楽晴会

連携団体・・・【市】 関連各課
三沢市社会福祉協議会
委託先社会福祉法人所管他施設

今後の課題

相談者の個別ケース記録を残し、詳細な相談内容把握することでニーズや課題の整理を行い、またイベント時のアンケート結果を考慮し、支援に必要な新たなイベントの展開させ、更なる支援の充実が必要である。

三沢市地域女性活躍推進事業 ～相談支援事業～

- ・困難や不安を抱える女性を対象とし、相談体制を整備、
社会とのつながりを回復するためのサポートをする
- ・事業所への来所相談、電話、メール、アウトリーチ（訪問）型相談
 - ケース記録を作成、ニーズの把握
 - 相談者の自立・課題解決へつなげる、要支援者への継続支援

- ・相談会と同時に生理用品や生活必需品等の
提供イベント〈中高生限定〉を開催

→ 来場者へ聞き取り、相談、アンケート
・・・悩みへの気づき、
相談場所の提供

→ 生理の貧困の解消、生活必需の提供、
友達とのつながりを作る

